

# ADLの根拠に基づくアプローチ ～ 食事編 ～

## 開催のご案内

謹啓 療法士の先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

現在、療法士の臨床現場において「ADLに問題を抱えた対象者に会わない」ことは、まずないかと思います。近年の診療報酬の改訂の流れをみてもADLへの介入は重要視されており、積極的な介入が強く求められています。

我々療法士が行うADLへの介入は、直接訓練、間接訓練、環境設定があると言われていています。ADL訓練は対象者、疾患、療法士だけでなく道具、習慣、文化など多くの要因が加わり、千差万別なため体系的な訓練の構築は非常に困難と言えます。

臨床現場で新人・若手に関わらずADLに介入している療法士から、「何を評価すればいいのか分からない」「具体的な訓練方法が分からない」「介入効果があるのか自信がない」といった声が多く聞かれるのは、それらが原因の一つとも言えるのではないのでしょうか。

また「ADLに特化した研修会がな無い、ADLの勉強方法に悩んでいる」という事もよく聞かれました。やはり、ADLへの介入で悩んでいる療法士は非常に多く、このようなことを踏まえ【ADLの根拠に基づくアプローチ】を開催させていただく事となりました。

ADLへの介入には、

### 「動作分析を含めた機能解剖学的な知識」と「ADLの各動作特有の知識」

を身につけることで根拠に基づくADLアプローチを確立し展開することが可能となります。

そして今回、【食事】に特化・着目した研修会を行います。脳卒中による片麻痺症状や手外科のハンドセラピー、廃用症候群など、疾患に関わらず【食事】はヒトの生活に重要であり、療法士にとって介入は必須と言えます。

### キーワードは「ADL」「食事」「根拠」

食事動作に関する基礎知識から即時性の高い治療・訓練技術までを学べる内容となっております。この研修会を通して、翌日の臨床からしっかり使えるADLへのアプローチを身につけて頂けると考えております。

他にはないこの貴重な機会を逃しませんよう、是非、ご参加くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白


### 講義内容

- 食事に必要な手・前腕・肘の機能解剖的知識
- 食事の動作分析
- 箸自立のための訓練と自主練習
- 手のアーチ・前腕・指への治療
- その他、食事動作に関する知識・技術

座学や実技を行います。  
詳細はHPをご覧ください。

### 詳細

主 催：（社）国際統合力ハビリテーション協会 （略称、IAIR）  
日 時：平成30年11月10日(土) 10：00～16：00  
場 所：Progresso eventroom イベントルーム パーク  
愛媛県松山市湊町4丁目3-10（松山市駅、徒歩2分）  
講 師：作業療法士、IAIR認定インストラクター  
受講料：8,640円(税込)  
対 象：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士  
申込方法：当会HP、URL、QRコード、事務局へE-mail

 Japanese Association of Occupational Therapists  
一般社団法人日本作業療法士協会  
日本作業療法士協会「生涯教育システム」SIG認定研修会  
1日参加で1ポイント取得

詳細内容・申し込み



([https://iairjapan.jp/events/event/ebm\\_adl\\_meal\\_ehime](https://iairjapan.jp/events/event/ebm_adl_meal_ehime))

◆お問い合わせ先  
（社）国際統合力ハビリテーション協会 事務局 渡邊 ([info@iairjapan.jp](mailto:info@iairjapan.jp))